

# 令和7年度国際総合競技大会における日本代表選手団帯同看護師の業務について

令和6年12月25日

## 1. 設置目的

令和7年度国際総合競技大会日本代表選手団に随行する帯同看護師は、日本代表選手団本部チーフドクターと連携をとり、各国際総合競技大会に参加する選手、コーチ、スタッフ等の日本代表選手団の健康管理を医療チームの一員として対処し、日本代表選手が円滑に競技出来るようにサポートすることにある。

## 2. 派遣日程

### ①タシュケント2025 アジアユースパラ競技大会(ウズベキスタン・タシュケント)

アジアユースパラ競技大会は2024年12月19日に開催見送りの発表を受け募集を保留

### ②ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会(イタリア・ミラノ/コルティナ)

大会期間:2026年3月6日(金)開会式 ~15日(日)閉会式 (10日間)

※派遣期間は大会期間の前後数日を含み予定していますが、大会により多少前後します。

## 3. 募集人数

看護師3名

※最終エントリー選手数により1~2名となる場合があります。

※医師の帯同も想定。

## 4. 費用について

渡航費・滞在費・ユニフォームはJPCが負担します。また、公益財団法人日本パラスポーツ協会の規定に基づき、帯同期間中の謝金をお支払いいたします。

## 5. 業務内容 別紙のとおり

(公財)日本パラスポーツ協会 医学委員会  
委員長 緒方 徹